

4月1日採用



臨時職員 (会計年度任用職員)を 募集します

■募集職種

一般事務、保育士など

※他の職種も募集していますので、市ホームページかハローワークで確認してください。

■応募資格 職種により必要資格が異なります。

■申込方法 1月10日(金)までに申込書を直接か郵送(必着)で☎へ

※申込書は、人事課、市民課分室(西庁舎)に置いているほか、市ホームページからもダウンロードできます。

※現行の臨時・嘱託職員は4月から会計年度任用職員という名称になります。

☎人事課(東庁舎)

☎71・2312 ☎72・1146

市営住宅入居者募集



■募集する団地

・宮の森団地5戸(3DK) ・石部南団地1戸(2DK)

■入居予定日 3月1日(日)

■家賃月額 18,400円~28,000円 ※収入によって変わります。

■敷金 家賃の3か月分

■申込資格

①市内に3か月以上在住か、6か月以上(同一職場に3か月以上)在勤していること

②税およびその他の使用料などを滞納していないこと

③現在同居している、または同居しようとする親族がいること

④入居予定者全員の収入月額合計が15万8千円以下(所定控除後の金額)であること

※裁量階層(高齢者・障がい者など)の世帯は、入居予定者全員の収入月額合計が21万4千円以下(所定控除後の金額)であること

⑤申込者および同居人が暴力団員でないこと

⑥現在住宅に困窮していることが明らかであること(持家<共有名義含む>のある人は申し込むことができません)

※申込みは1世帯1戸

※単身入居の場合は、一定の条件あり

※ペットの飼育は禁止

■申込書配布・受付期間

1月16日(木)~23日(木) 午前9時~午後5時

※印鑑持参

※申込者多数の場合は、1月下旬に公開抽選を行います。

詳しくは☎へ

☎土木建設課住宅室(東庁舎) ☎71・2349 ☎72・7964

昨年、異常気象による大規模な自然災害が相次ぎましたが、気候変動問題などの地球規模の課題が注目されるなか、今年からいわゆるパリ協定が実行段階に移ります。

平成9年に採択された京都議定書で気候変動の原因のひとつとして世界的な課題と認識された温室効果ガスの削減問題は、その実効性が十分でなかったため、平成28年のパリ会議でほぼ全世界の国が参加して(米国は今年11月脱退予定)新たな協定を締結し直しました。



気候変動の原因には、温室効果ガスやオゾン、水蒸気、地球の表面反射率、エアロゾル、太陽エネルギー変化などさまざまな要素がありますが、水蒸気とも影響が大きいとされるものが温室効果ガスで、そのうち最も影響の大きいものが二酸化炭素とされています。

そうした原因要素により、地球表面の平均気温は20世紀初めから1度上昇しており、気候変動を引き起こしていると言われています。

そのためのパリ協定では、産業革命以前からの世界の平均気温の上昇を2度未満に抑え込むことを目標に、世界の各国が脱炭素化の削減目標を掲げて国内対策を行うこととしています。

政府も『パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略』を策定して環境と経済成長との好循環を実現するとしています。本市も昨年10月に『第二次湖南市環境基本計画』を取りまとめ、持続可能な社会と地域循環共生圏の実現をめざすこととしました。

グローカーリズムという言葉があります。これは着眼大局着手小局と訳すこともできます。地球環境全体をいきなり変えることはできませんが、身の回りの環境から変えていき、それを積み上げて地球環境の変化につなげようということです。

本市は、多様な自然環境と歴史的な文化環境を大切にしながら、廃棄物の縮減やエネルギー問題の解決に地道に取り組むことで全国的に注目されています。

本市の出資するこなんウルトラパワー株式会社では家庭向けに電力供給も始めましたので、電気の地産地消にも興味を持っていただければ幸いです。